

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL http://www.janome.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 道夫
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 中坪 勝彦 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,258	6.0	934	△13.5	1,103	24.9	733	89.4
29年3月期第2四半期	19,110	△7.7	1,079	39.9	883	△12.9	387	△9.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,175百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △721百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	37.93	—
29年3月期第2四半期	20.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	52,043	24,893	46.2
29年3月期	52,052	23,941	44.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 24,030百万円 29年3月期 23,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.9	2,700	9.0	2,600	21.6	1,800	12.0	93.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	19,521,444株	29年3月期	19,521,444株
30年3月期2Q	189,731株	29年3月期	189,721株
30年3月期2Q	19,331,719株	29年3月期2Q	19,331,730株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
(1) 所在地別セグメント情報	12
(2) 海外売上高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気回復が続いたものの、米国の政策動向や難航する英国のEU離脱交渉及び緊張が高まる朝鮮半島情勢などの地政学的リスク等、先行き不透明感は依然として残りました。

わが国経済におきましては、底堅い内外需要に支えられ、景気は回復基調で推移した一方で、企業や消費者の根深いデフレマインドにより、実質賃金や物価が伸び悩むなど、力強さに欠ける展開となりました。

このような中、当社グループにおきましては、中期経営計画のもと、新製品の投入や各種展示会への出展等の諸施策を実施いたしました。また、業務効率化・生産性向上に努めるとともに、徹底したコスト削減に取り組みました。

その結果、当第2四半期の総売上高は20,258百万円（前年同期比1,147百万円増）、営業利益は934百万円（前年同期比145百万円減）、経常利益は1,103百万円（前年同期比219百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は733百万円（前年同期比346百万円増）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<家庭用機器事業>

海外ミシン市場におきましては、機能面を重視したミシンをはじめとする新製品を中心に、需要喚起に努めました。また、全米5都市を巡る代理店やディーラー向けの新機種リリースイベントツアーを初めて開催するなど、販売促進の強化に取り組みました。

国内ミシン市場におきましては、全国各地で行われた展示会への出展や、吉祥寺「Bobinage」及び全国の直営支店で開催しているソーイング教室、著名キルト作家の作品展への後援等を通じて、ミシンやハンドメイドを身近に感じていただける機会を数多く提供し、市場の活性化に努めました。

その結果、海外、国内を合わせたミシンの販売台数は79万台（前年同期比1万台減）となり、家庭用機器事業全体の売上高は15,117百万円（前年同期比269百万円増）、営業利益は509百万円（前年同期比311百万円減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、卓上ロボットはスマートフォンをはじめとする情報端末機器関連企業からの受注が伸びました。また、中国を中心に高騰する人件費を抑制する動きが工場の自動化を後押しする中、需要に合った製品の供給を迅速に行ったことで、販売台数は第2四半期連結累計期間としては過去最高を更新いたしました。エレクトロプレスは自動車部品関連企業を中心に販売を拡大し、堅調に推移いたしました。また、ダイカスト casting 関連は、産業機器関連企業において機械受注が復調したことに伴い、ロボット部品を中心に販売が増加いたしました。

以上の結果、産業機器事業全体の売上高は3,534百万円（前年同期比631百万円増）、営業利益は347百万円（前年同期比131百万円増）となりました。

<その他事業>

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸収入を加えたその他事業の売上高は1,606百万円（前年同期比246百万円増）となり、また、一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は58百万円（前年同期比41百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は52,043百万円（前連結会計年度末比8百万円減）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の増加等により24,168百万円（前連結会計年度末比407百万円増）となりました。固定資産は有形及び無形固定資産の減価償却等により27,874百万円（前連結会計年度末比416百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少等により18,582百万円（前連結会計年度末比541百万円減）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,567百万円（前連結会計年度末比418百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により24,893百万円（前連結会計年度末比952百万円増）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から1,276百万円減少し、5,386百万円（前年同期比448百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,104百万円、売上債権の増加1,120百万円、仕入債務の増加630百万円などによる資金の増減があり、702百万円の資金の増加（前年同期は794百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備・金型等の有形固定資産の取得による支出267百万円などにより、303百万円の資金の減少（前年同期は230百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少983百万円、長期借入金の返済による支出442百万円などにより、1,697百万円の資金の減少（前年同期は491百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,195	5,981
受取手形及び売掛金	6,772	8,014
商品及び製品	5,849	5,784
仕掛品	568	712
原材料及び貯蔵品	2,511	2,647
その他	1,028	1,209
貸倒引当金	△165	△181
流動資産合計	23,761	24,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,403	6,271
土地	14,557	14,516
その他（純額）	2,325	2,322
有形固定資産合計	23,286	23,110
無形固定資産		
その他	1,308	1,195
無形固定資産合計	1,308	1,195
投資その他の資産	3,696	3,568
固定資産合計	28,291	27,874
資産合計	52,052	52,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,781	3,480
短期借入金	13,332	11,954
未払法人税等	215	268
賞与引当金	499	644
その他	2,294	2,234
流動負債合計	19,124	18,582
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,442	3,434
退職給付に係る負債	4,799	4,424
その他	744	708
固定負債合計	8,985	8,567
負債合計	28,110	27,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	6,158	6,715
自己株式	△325	△325
株主資本合計	17,206	17,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	185
土地再評価差額金	6,420	6,403
為替換算調整勘定	△205	77
退職給付に係る調整累計額	△469	△398
その他の包括利益累計額合計	5,892	6,267
非支配株主持分	842	863
純資産合計	23,941	24,893
負債純資産合計	52,052	52,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,110	20,258
売上原価	10,794	12,258
売上総利益	8,316	8,000
販売費及び一般管理費	7,237	7,065
営業利益	1,079	934
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	31	44
為替差益	—	139
その他	60	45
営業外収益合計	103	240
営業外費用		
支払利息	76	51
為替差損	146	—
その他	76	19
営業外費用合計	299	71
経常利益	883	1,103
特別利益		
固定資産売却益	0	20
特別利益合計	0	20
特別損失		
固定資産除売却損	1	19
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	7	19
税金等調整前四半期純利益	876	1,104
法人税、住民税及び事業税	317	279
法人税等調整額	118	71
法人税等合計	435	350
四半期純利益	440	753
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	733

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	440	753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	39
為替換算調整勘定	△1,267	312
退職給付に係る調整額	117	70
その他の包括利益合計	△1,162	422
四半期包括利益	△721	1,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△704	1,125
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	50

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	876	1,104
減価償却費	705	675
のれん償却額	72	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△109	△329
受取利息及び受取配当金	△42	△55
支払利息	76	51
売上債権の増減額(△は増加)	△296	△1,120
たな卸資産の増減額(△は増加)	△990	△17
仕入債務の増減額(△は減少)	611	630
その他	304	△31
小計	1,206	908
利息及び配当金の受取額	43	58
利息の支払額	△74	△51
法人税等の支払額	△381	△213
営業活動によるキャッシュ・フロー	794	702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△60
定期預金の払戻による収入	—	42
有形固定資産の取得による支出	△197	△267
有形固定資産の売却による収入	2	75
その他	△32	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△303
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	363	△983
長期借入金の返済による支出	△787	△442
配当金の支払額	—	△190
その他	△67	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491	△1,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	△295	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△223	△1,276
現金及び現金同等物の期首残高	6,059	6,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,835	5,386

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,847	2,903	17,750	1,359	19,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	357	376	420	797
計	14,867	3,260	18,127	1,780	19,908
セグメント利益	821	215	1,036	17	1,053

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,036
「その他」の区分の利益	17
セグメント間取引消去	25
四半期連結損益計算書の営業利益	1,079

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,117	3,534	18,651	1,606	20,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	373	391	401	792
計	15,135	3,907	19,043	2,008	21,051
セグメント利益	509	347	856	58	915

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	856
「その他」の区分の利益	58
セグメント間取引消去	19
四半期連結損益計算書の営業利益	934

3. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,224	3,309	218	3,357	19,110	—	19,110
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,322	—	8,716	5	14,044	(14,044)	—
計	17,546	3,309	8,935	3,363	33,155	(14,044)	19,110
営業利益	439	150	902	84	1,576	(496)	1,079

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,686	3,044	294	3,231	20,258	—	20,258
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,825	—	8,081	0	11,907	(11,907)	—
計	17,512	3,044	8,375	3,232	32,165	(11,907)	20,258
営業利益	626	64	310	117	1,120	(185)	934

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,432	4,510	4,728	12,671
II 連結売上高(百万円)				19,110
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.0	23.6	24.7	66.3

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,246	5,072	5,140	13,460
II 連結売上高(百万円)				20,258
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.0	25.0	25.4	66.4

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米………米国、カナダ

② 欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米